



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKOROZAWA

2024年5月 (2023年度) 通巻 413号

今月のテーマ：LT・ユース



会 長	澁谷弘祐	クラブ会長主題 「親睦を通して、互いを知ろう」
副会長	小林勉	国際会長 ウルリック・ラウリドセン ‘Let Your Light Shine’ 「輝かそう、あなたの光を」
書 記	宮地輝子	アジア太平洋地域会長 利根川恵子(川越クラブ) [変革のための光となるう]
会 計	金本伸二郎	東日本区理事主題 山田公平(宇都宮クラブ) 「未来のために今、学びと気づきを！ 未来のために、自信と喜びを感じる機会を！」
		関東東部部長主題 長尾昌男(千葉ウエストクラブ) 「親睦を糧にクラブライフの充実」

今月の聖句

「あなたがた天の父は、これらのものがみな、あなたがたに必要なことをご存じである。まず、神の国と神の義とをもとめなさい。そうすれば、これらのものはみな添えて与えられる。

だから、明日のことを思い煩ってはならない。明日のことは明日自らが思い煩う。その日の労苦はその日だけで十分である。」

マタイによる福音書第6章32節～34節

5月 例会プログラム

日時：令和6年5月11日(土)

18:00～

会場：YMCA 所沢センター

司会 小林 勉

- 1 開会点鐘
- 2 ワイズソング
- 3 ワイズの信条
- 4 聖書祈り
- 5 YMCA 報告
- 6 ワイズ報告
- 7 歓送迎会
黒田さん・太田さん・岡部さん
- 8 誕生・結婚記念
- 9 閉会点鐘

※会費 持ち寄りのない人・・・ 500円

一品持ち寄りの人・・・無料

参加の返事 一斉メールで5月8日までに

6月号 ブリテン一面 澁谷実季さん

5月の例会報告 小林勉さん

ESMY(エスミー)にかかわって 小林ペン

「人間にとって最も幸福なのは、自分の業によって楽しみを得ることだと、私は悟った。それが人間にふさわしい分である」

(旧約聖書コレヘトの言葉 3章22節)

昨年9月から、所沢市内で開いている「エスミー(青少年多文化学びサポート)」のほんご教室のスタッフとして、週1回公民館で外国籍(主として東南アジア出身)の中学生、小学生と一緒に勉強しています。



教室の様子

この三月まで、日本に来てまだ1年足らずの中三の子二人(ネパール、フィリピン)と一緒に高校受験に取り組み、二人とも定時制の県立高校に無事入学しました。来日するまで日本語の勉強はほとんどやってなかったような彼らですが、小学3-5年生用の国語のドリルを使って日本語の理解力を身につけていく学習を主に取り組む中で、日ましに変わっていく彼らの学ぶ力の動きを見てきて私自身も大きな励みとなりました。

先日4月3日、エスミーに在室している中・高生12人(ベトナム、パキスタン、インドネシア、フィリピン、中国、ミャンマー出身)とスタッフ8人で「高校入学を祝う会」を開きました。公民館の教室では時間も限

られているし学習が目的ですから彼らの“はしゃぐ姿”を見ることはなかったのですが、集会終わり間際の「特技披露」の場で私が最初にハーモニカで「アニーローリー」を吹いたところ子供たちが乗ってきて、歌やお国言葉での掛け合い、ダンス披露が時間をオーバーして続きました。子供たちのこんなにも生き生きとした素顔を見ることができ、本当に感激しました。

高校合格を祝う会が終わったあとの感慨にふけっているとき、この気持ちはどう表したらいいのだろうと想像していた時に、冒頭の聖書の言葉を思い出しました。

私のこれまでの学びサポートを振り返ると、学生時代に2年間小・中学生の家庭教師、水産大練習船での2年間の教官（モールス信号、天気予報講習）、転勤先での日系ブラジル姉弟の家庭教師や日本語教室のボランティアなど、そして退職後は学習障害や多動症の子供たちの学習支援を経験してきましたが、先日の思いは本当に“自分の業によって楽しみを得る”を実感！！

ブリテン読者の皆さんも同じような経験をされていると思いますが私たちと一緒に【青少年多文化支援活動】を通じて “自分の業によって楽しみを得て”

みませんか？

ESMY (Educational Support for Multicultural Youth) は

所沢を活動拠点として2012年に創設されたボランティア団体。

理念及び目的は国連の「こどもの権利条約」を支援理念とし所沢市及び近隣在住の多文化を背景とする青少年（およそ20才まで）が安心して生活・学習できるように支援することです。

連絡先；持丸邦子 090-9675-1286

(ESMYのパフレットから引用)

4月例会報告

大澤和子

4月27日（土）川越クラブの新井壽代さん（あらいとしよさん 利根川さんの妹さん）が入会されました。元アジア・太平洋地域会長の田中博之さん、埼玉クラブの衣笠さん、所沢クラブからは坂本さん、宮地さん、大澤の3人がお祝いに駆け付けました。

新井さんは長くYMCAの講師をなさったり、常にワイズを支えてきてくださり、川越のバナーのデザインは新井さんがなさったとのことです。利根川恵子さんも、「新しいメンバーが身内で、喜びも倍増」田中さんは「東日本区の強さを一番表わしているのが川越クラブです。新井さんも入会されて、益々活躍されるでしょう。」とご挨拶されました。私は「利根川さんは私の尊敬する人、いつも後ろからついてきましたが、今度はお二人の後ろからついていきます」と申しました。新井さんは「これからワイズのメンバーになって、私なりにできることをやらせていただきたい」とおっしゃっていました。入会式の後、川越の街を散策しながらゴミ拾いをしました。川越YMCAに通う高校生とOB7人を含めて20人の清掃部



隊です。川越はとてもきれいな街ですが、6.5キロのごみを集めました。

ワイズ報告

澁谷弘祐

4月6日に関東東部EMCを考える集いが開催されました。所沢クラブの参加者は5名でした。特に、部会員増強事業主査として大役を担った大澤メン、発題を担当された小林恵子メンに感謝いたします。4月27日の埼玉3クラブ合同例会の参加者は3名でした。5月18日に関東東部評議会、6月1-2日に東日本区大会が開催されます。参加を通してワイズメンズクラブの広がりを感じて頂ければ幸いです。小関京子メンの逝去を受け、次年度クラブ役員が変更になりました。新年度を迎えて担当主事が小谷全人さんから太田聡さんに交代しました。埼玉YMCAとの関係が今後も良好であるようにご協力をお願いします。

最後に、私とメネットは年明け以降予想以上に過密な仕事を抱えており、収束する気配がまだ見えず、万事において会員の皆様にご負担をおかけしております事をお詫びします。次年度役員の話し合いと承諾をはじめクラブ運営に多大なご協力を頂き、本当に感謝です。

2024年度 1学期教室スケジュール

	会場	曜日	時間	4月	5月
1	血木公民館	月	13:30 ~17:00	8・15・22	13・20・27
2	新所沢公民館	火	16:30 ~19:00	9・16(学1) 23(学1)	7・14(学1) 21・28
3	柳瀬公民館	水	16:30 ~18:00	10・17・24	1・8・15・22 29
4	小手指分館 (新教室)	木	17:30~ 19:00	11・18・25	2・9・16 23・30
5	東所沢和田三 丁目集会所 (東所沢住民)	金	17:30 ~19:00	12・19・26	10・17・24 31
6	こどもと福祉の 未来館	土	10:00 ~12:00	13・20・27	11・18・25

「見て～!」「せんせ～い!」春のポカポカ陽気の中、近くの公園へお散歩に出かけた時のことです。地面を歩く



小さく小さい黒い虫を見つけると、棒でツツツとしながら、一生懸命に先生を呼んでいました。「That is an ant!」と英語で先生が返すと「アンツ?」と不思議そうにしながらも、「アンツ、アンツ」とつぶやきながら、行ったり来たりするアリの動きを興味深く眺めて

ていました。

また、別の日には、カラフルなおもちゃを「Sorting (仕分け)」している子どもたち。

「blue!」「yellow!」と先生の英語を聞きながら、慣れないトングで一生懸命つまんで、お皿に移動させていました。



私が担当しているクラスでは、日々このような可愛らしい場面が溢れており、いろいろな活動を通して、小さなチャレンジを重ねて成長している子供たちがいます。

プリスクールは満2～3歳の子ども達を対象にしたクラスで、キッズアカデミーと同じ教育方針のもと英語やリトミック、体操などYMCAの総合力を活かした保育を行っています。毎週金曜日には、キッズアカデミーの



4-6歳のお兄さん、お姉さんと一緒に近くの公園に出かけたりします。また春に行われる親子遠足を始め、スポーツデイ (秋の運動会)、チャリティーランなどの合同行事にも参加してもらうことで、園児同士の縦のつ

ながりや先生たちとの関わりを持ってもらえるようにしています。

この4月もプリスクールから8人がキッズアカデミーに進級しました。成長した彼らを見守りながら、今年も新たなプリスクールの子どもたちに「明るく、楽しく、安心できる場所」を提供していきたいと思っています。

大澤和子

「ちょっと関係する小関です。」と自己紹介をしていた小関さんでしたけど、ちょっとどころか大いにお世話になりました。

「私は数のLDだから、私に数字のことは聞かないで」と言いながらもクラブの会計をやってくださいました。また、副会長を長く勤めてクラブをお支えいただきました。

小関さんが子どもの頃育った西洋館を訪問した時には「ここが私の部屋でした。」と案内してくれて、由緒正しいお家柄にびっくりしました。小関さんが通う武蔵豊岡教会や西洋館はご先祖さまの建立と聞き、なるほどクリスチャンとしてのDNAもしっかり受け継いでイエス様のご愛を周りの人たちに惜しまず分け与えてくださったのだと納得しました。

天に召された今でも、ちょっとどころか大いに心に残る小関さんの愛のお働きをいつも思い出しています。

金本伸二郎

本日の小関さんの葬儀は小関さんのお人柄を偲ぶのに、相応しい葬儀でした。

520番の賛美歌は、以前のさんびかでは452番で、小関さんは古い賛美歌の歌詞の方が好きだったのではないかな、などとおもいつつ、いずれにしろ、小関さんの想いと小関さんのお姿が濃縮されたかでしたので、涙が止まりませんでした。

小林ペン

小関さんとの心に残るエピソードですが、お会いしたのが月1回の例会しかありません。

ただ彼女の足の強さに感嘆したことがあります。

YMCAのチャリティースイム、ラン、ウォーキングにエントリーし、1週間の各距離を競うものですが、僕がかなり無理して歩き6.5万歩で「いい線に行くかも」とエントリーしたら小関さんはなんと44万歩でした。これには脱帽したことがあります。

宮地輝子

前向きですてきな小関さん

「一日平均15,000歩は歩いて、疲れを知らない私です。」と、一面記事に書いてくださいました。小関さんは、どこでも歩いて行かれ、電車内は立つことを決め、これからも前向きに生きていきたいというご姿勢は私の模範となっていました。

旧石川組製糸のご子孫である小関さんは、慈悲深い行いをされたという創業者の方たちの生き方と同じように、多くの人々に手を差し伸べ、人生を、いっぱい生きられたように思います。立派な西洋館・教会、黒須銀行あのあたり一帯が旧石川組の所有で、そこに暮らした小関さん、歴史的一幕にいらした存在はすばらしく、輝いて、見えました。入会したての私にも温かくしてくださり、もっとお話したいと思っていましたのに、お別れと

なっけしまい、とても残念です。

ワイワイウォーク築地・佃島報告 坂本憲枝

4月13日東新部のワイワイウォークに所沢クラブから、大澤さん・小林恵子さん・宮地さん・私の4名で参加しました。築地・佃島を築地の住人である東京クラブの小島さんが案内してくださいました。お天気も快晴の一日で良かったと思いました。ここは大澤さん・小林恵子さん姉妹の子供時代を過ごしたところで、とても興味深い地です。

築地本願寺は1610頃はじめ浅草に建てられたのに、明暦の大火で焼けて、1680頃、現在の築地に建てられたということです。元は海だったところを佃島の門徒が海を埋め立て、土地を作り再建したということです。新たに「地」を「築」いたので築地という由来を聞きました。その後また、関東大震災で焼けて、建築家の伊藤忠太が現在の寺院を建てたという歴史を聞きました。中には手すりなどに動物の彫刻があるのが有名だそうです。そこから少し、歩き、浅野内匠の頭邸跡に行きました。当時の赤穂藩邸は西と南の2面が川に面していて、およそ8900坪もあったというのに、驚きました。



しかし、元禄14年(1701)3月14日、浅野内匠頭が、江戸城松の大廊下において吉良上野介に対して刃傷に及んだため、即日切腹を命ぜられました。この事件によって、江戸上屋敷也所領は没収され、赤穂藩浅野家は断絶となりました。

浅野家旧臣たちは、主君の仇を討つため元禄15年12月に本所吉良邸へ討ち入った事件は、のちの世にも語り継がれる歴史的な事件として知られています。

そこから、少しくと、聖路加国際大学があり、その近くに立教学院・女子学院・慶応義塾大学・暁星学院・明治学院・青山学院の発祥の地、指紋研究発祥の地・蘭学事始めの地があり、ここから、それぞれ、現在の地に移転したのだと聞き、ここは日本文化の中心のような所だったことを知りました。

そこから、佃渡船場跡を見て、佃島、佃煮発祥の地を見ました。佃島は、隅田川河口にできた自然の寄り州でしたが、江戸幕府初代徳川家康の時、摂津の国佃村の住民を招いて住ませたとすると伝承されています。

この島と対岸の船松町(佃島大橋西詰付近)との間に生保2年(1645年)に通ったのが佃田の渡しです。

佃島大橋、見てやっとわかりましたが、水辺の賑わい創出する隅田川のライトアップを見てから、この地が本当によくわかりました。

ペリーがやって来たとき西洋式海軍に彩られた江戸幕府は、安政4年4月旗本や希望者を集めて航海術・海上砲術の講習や軍艦の教習所をこちらにあった築地公務所内に創設しました。

万延元年(1860年)正月に講習所が移転した後は跡地一体には軍艦操練所の専用地となりました。元治元年(1864年)には焼失して、南隣の広島藩主下屋敷のあった場所へ仮移転をしています。その後、向井将監や勝海舟が頭取をつとめました。

また、イチョウの木が家の中に大きく伸びている家を見ましたが、これも驚きでした。

その後、勝どき橋を歩いて渡り、場外でお寿司の昼食をとりました。勝どき橋は、子ども時代に船に乗って、下を通りましたが、歩いて渡るのは、初めてでした。馴染みのある築地や佃島が、こんなにいろいろ歴史の詰まっています、興味深い歴史を知り、とても充実感のあるワイワイウォークでした。



煎茶 100g 1,000円

粉茶 200g 1,000円

ほうじ茶 90g 500円



新茶の季節

美味しいお茶を

4月例会

所沢クラブ会員	3名	
川越クラブ会員	9名	
埼玉クラブ	1名	
川越YMCAの高校生とOB		7名
		計 20名